

■ 国際交流Q & A * 大学(部会)によって運営が異なることがありますのでご留意ください

Q 1 : 外国からの留学生と一対一交流をしたいと思っているのですが、そのための手続きはどうすればいいのでしょうか。

交流のご希望があれば、三井 V-Net の会員登録をおねがいします。事務局の各大学担当より手続き方法等をご案内します。三井 V-Net のボランティアが交流しているのは、関東地区では東大(柏)、千葉大、横浜国大、駒澤大、埼玉大、の留学生です。尚、複数の大学に登録することも可能です。

Q 2 : 当方の交流希望日、頻度、語学力等に合った、留学生を紹介いただけるのでしょうか。

交流申込者と留学生の組み合わせは双方の交流内容に関する希望などをもとに決定されます。しかしながら、希望される大学にもよりますが、ご希望がある程度制約されることもあります。学生とお会いした結果、どうしても交流することが難しいと思われる場合は事務局に相談してください。

Q 3 : 事務局に交流希望を申し入れてから、組み合わせが決まるまで、どのくらいの時間がかかりますか。また、組み合わせの決定や交流開始に季節性はあるのでしょうか。

交流の意思表示から組み合わせが決まるまで、数週間から数ヶ月、かかることもあります。時期や大学により相当異なります。また、季節性ですが、新学期が始まる4、5月か、後期から入学する留学生が来日する9、10月が多いようです。

Q 4 : 留学生との交流の頻度はどのくらいが適当なのでしょうか。

原則、事前にお聞きした希望に合った、留学生をご紹介します。交流が決まれば、頻度は相手の学生の希望を勘案し、話し合いで変更されることは可能です。学生の留学目的や、例えば、論文作成、アルバイト、旅行など、個々の学生の生活状況、活動状況などから判断して、無理のない頻度にした方がいいでしょう。

Q 5 : 留学生との交流は土・日のみでも可能でしょうか。

留学生の多くは平日の交流を希望しています。平日に活動できることが望ましいですが、土・日でもご紹介は可能です。ただし、留学生の交流希望は少ないので、ご紹介までお時間がかかることを、ご承知おきください。

Q 6 : 交流の方法には、どのようなものがありますか。

特別の決まりはありません。これも、各ボランティアの自由です。

しかし、例えば日本や学生の母国のお国自慢、衣食住の風俗・習慣について日本語で会話することなどがお互いの親しさを深めるのに有効です。また、漢字使用圏の学生なら、一緒に決めた図書を読むことも効果的です。この場合、学生と一緒に書籍店や図書館を往訪のうえ、学生の興味や実力に適ったものを選ぶことが大切です。

さらに、相手が学問追求型の学生なら、日本語論文の添削をするなど勉学に付き合うことも求められることがあるかも知れません。

日本文化を体験してもらうために、名所旧跡訪問や蛸狩り、花火見物なども行われていますが、それぞれに精通したボランティアがいますから、相談してみてください。歌舞伎、文楽、能など古典芸能の鑑賞には三井 V-Net 本部からチケットの斡旋もあります。(相応の費用がかかります。)博物館、美術館、音楽会などは外国人無料招待の機会もあります。

Q 7 : 交流の場所はどんなところが適当でしょうか。

大学によりルールが異なります。加入した大学部会の世話人あるいは会員、事務局などにご相談下さい。

Q 8 : 学生との対話は日本語ですか。それ以外の言葉ではいけませんか。

対話は、日本語が原則です。ただし、留学生の日本語能力によっては、最初のうちは英語か学生の母国語を交える会話となる場合もあります。また、最近は LINE やEメールを利用した交流も盛んになっています。

Q 9 : ボランティアにとってスマホやパソコンは必要でしょうか。

事務局一会員間、会員一留学生間等、コミュニケーションツールとしてスマホが必須なのは言うまでもありません。事務局から会員宛での連絡、資料送付等はEメールで行います。パソコンが無く、スマホのみでも一定の対応は可能ですが、その場合は添付ファイルが読み取れるように設定することが必要です。

Q 10 : 待ち合わせなどで何か交流での問題は起こっていませんか。

几帳面な日本人と、おおらかな学生とのギャップから、待ち合わせなどの面でかなりの問題が報告されています。まず、待ち合わせ場所だけはお互いが分かりやすいところを明確に決めてください。また、時間については、外国人はかなり大まかな人が多く、悪気はなくてもドタキャンすら珍しくありません。留学生が一言の連絡もなく帰国したり、交流や連絡が途絶えたケースもあります。これだけ親切にしてあげたのに反応がない、感謝の態度がない、何を望んでいるのか分からないなどコミュニケーションの難しさも加わり、日本人の感覚と異なることがあります。いずれにせよ、交流には一定の忍耐が求められます。

Q 11 : お茶代や食事代の負担はどうすればいいでしょうか。

特に決まりはありませんが「割り勘」が原則です。イベントの内容によりますが、歌舞伎鑑賞等の古典芸能は留学生に有料であることを説明し鑑賞希望の有無を確認しますので、チケット代は負担させています。

Q 13 : 学生から借室契約などの保証人になってほしいと頼まれたらどうすればよいでしょうか。

そのようなケースには通常、大学の担当窓口などが対応しますから、ボランティア個人が保証人になることは求められません。万一求められましたらきちんと断わり、大学の担当窓口にご相談するよう指示して下さい。医療費支払いの保証についても同様です。

Q 14 : 奨学金斡旋の依頼があったらどうしましょう。

通常、各大学の担当窓口が対応していますので、留学生より奨学金等の申し出がありましたら、大学の担当窓口にご相談するよう指示して下さい。

Q 15 : 学生から就職先斡旋の依頼があったらどうしましょう。

留学生には大学の留学生担当窓口あるいは就職斡旋窓口にご相談するよう指導願います。ボランティア会員個人の縁故やコネクション情報等、留学生に過大な期待を持たせるような発言は誤解を招きますので注意しましょう。

Q 16 : ボランティアが複数の留学生と交流する場合、同じ場で交流していいでしょうか。

原則として一対一で交流となりますが、留学生が友人同士等と一緒に交流することを希望された場合などは事務局にも相談の上、臨機応変な対応を行ってください。

Q 1 7 : 政治や宗教を対話のテーマにすることはご法度でしょうか。

こうしたテーマを避けて通る方、積極的に対応される方などボランティアによってさまざまですが、トラブルとなりやすいテーマでもあります。各国の文化、習慣、歴史をよく理解し、個人の基本的人権と多様な価値観、個性、プライバシーを尊重することが基本です。政治、宗教、等に関する言動には十分注意してください。

Q 1 8 : 留学生の食べ物には留意する必要がありますか。

食べ物に留意する必要は大いにあります。相手の宗教上の決まり、体質や健康上など個人的な事情による 制約があるかもしれませんので、必ず確認してください。

Q 1 9 : 学生との交流がうまくいかなかったり、問題が生じた場合、相談するところがありますか。

そのような場合は、一人で悩まないで、事務局もしくは大学の担当者に早めに相談してください。

Q 2 0 : 学生との交流の経過や結果をどこかに報告する義務があるのでしょうか。

交流留学生と連絡が取れない、連絡しても回答がない等の場合及び会員の方の健康その他の都合で交流が継続困難な場合は事務局もしくは大学の担当者に早目に連絡してください。なお、交流中の経過及び結果は部会例会の中で発表してもらおう大学部会もありますし、特に発表を要しない大学部会もあります。交流状況を事務局に報告する必要はありませんが、不都合等があれば遠慮なく申し出下さい。

Q 2 1 : 交流で負担となることがありますか。

無償ボランティアですから交流に関わる費用は皆様ボランティアのご好意に依存しています。交通費、喫茶代その他、食事や催しに招待すれば相応の費用がかかります。無理をされない範囲での交流をお勧めいたします。

費用以外に負担を感じられた方では、就職活動の応援に期待を持たれたけれど実現できなかった、留学生が交流に何を望んでいるのか分からなかった等のご意見があります。

Q 2 2 : 交流して良かったと言われることがありますか。

多数のボランティアの皆様から交流して良かったという以下のような感想をいただいています。

- ①留学生は大変優秀なので、帰国後は政治や経済で国を担う人材となり、日本ファンとして 影響力を発揮してくれると思う。
- ②仮に二国間に政治問題があっても、まずは個人同士から理解を深め信頼し合い、草の根外交をしたという充実感を持った。
- ③留学生の勉学を助けていた自分が逆に教えられることがあった。
- ④若い留学生との交流で定年後の活力維持・脳の活性化に役立った。
- ⑤留学生に日本の伝統や文化を教えるつもりが自分自身の改めでの勉強の機会となった。
- ⑥ビジネスで赴任した国への恩返しが出来た。

等の感想が届いています。